

## 明 秀日立野球部 小川市長に「春の甲子園」の結果を報告

明秀日立は、3月19日から行われた選抜高等学校野球大会に出場しました。23日の鹿児島県立大島高校との初戦では、自慢の打線が10安打・8得点し、エースの猪又選手と石川選手の力強いピッチングで相手を無失点に抑え、8対0で勝利。続く27日の市立和歌山高校との2回戦は、惜しくも1対2で敗れ、ベスト16で大会を終えました。石川ケニー主将は、「足りない部分を修正して、もう一度夏に甲子園に行きたい」と今後の大会での活躍を誓いました。



## ひ たちこれから。プロジェクト しごとのくるま大集合！を開催

4月9日、日立シビックセンター新都市広場に、パトカーや消防車、自衛隊車両など20を超える「しごとのくるま」が集まりました。イベントには朝から多くの親子連れが来場し、各車両の展示ブースで試乗したり記念撮影などをして楽しんでいました。また、高さおよそ50mのクレーン車の操作実演も行われ、その迫力に子どもたちは目を輝かせていました。



## ス ポーツを通じた魅力あるまちづくりを 茨城ロボッツとマザータウン協定を締結

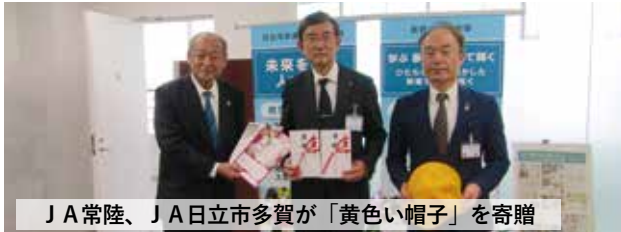
市とプロバスケットボールチーム茨城ロボッツの運営会社がマザータウン協定を締結し、4月16日に池の川さくらアリーナで協定セレモニーを開きました。マザータウンとなったことで、茨城ロボッツの熱い戦いを池の川さくらアリーナで観戦できることに加えて、子ども向けのバスケットボール教室などが行われる予定です。国内最高峰のBリーグで熱戦を繰り広げる茨城ロボッツの活躍が注目されます。

## 子どもたちの安全を願って 「防犯ブザー」と「黄色い帽子」の寄贈

常陽銀行日立支店とJA常陸、JA日立市多賀は、新入学児童の交通安全に役立ててほしいとの思いから、「防犯ブザー」や「黄色い帽子」を市に寄贈しました。常陽銀行は平成17年から「防犯ブザー」を、JAは昭和51年から「黄色い帽子」を毎年寄贈しています。子どもたちは、入学式に配られたブザーと帽子を身につけ、毎日、元気に学校に通っています。



常陽銀行が「防犯ブザー」を寄贈



JA常陸、JA日立市多賀が「黄色い帽子」を寄贈



## 日立一高生が制作した動画 「いばたん2021」で最優秀賞を受賞

県立日立第一高校の国井悠貴さん、今野馨琳<sup>かれん</sup>さんは、茨城の魅力発信する高校生コンテスト「いばたん」の動画作品部門で、最優秀賞を受賞しました。二人が制作した動画「ヒタチビト」は、市西部の山々「日立アルプス」の魅力や、関係者へのインタビューなどを交えて取り上げた作品です。報告を受けた小川市長は「市の魅力と皆さんの思いが伝わるすばらしい動画」と絶賛しました。動画はYouTube(右記QR)で配信されていますので、ぜひご覧ください。



## 久慈川河川敷の菜の花が満開に 菜の花×アートのコラボ

地域住民などで組織する「久慈川菜の花エコネットワーク推進会」は、河川敷の景観向上などのため、久慈川河川敷の畑で菜の花を栽培しています。菜の花は、4月10日から見ごろを迎え、黄色い絨毯のように一面に咲き誇りました。4月16日には、大みか町を中心に活動するアート団体「おおみかアートプロジェクト」の作品も展示され、訪れた方々は、菜の花とアート作品のコラボレーションを楽しんでいました。



## 協働で市民の健康づくりを推進 市と大塚製薬が包括連携協定を締結

この協定は、大塚製薬がこれまで培ってきたノウハウやネットワークを、スポーツ振興や健康増進のほか、多方面にわたる市の施策や事業に生かすことで、持続的に発展できるまちづくりの推進を目指すものです。4月25日に締結式が行われ、小川市長と、北関東を所管する大塚製薬大宮支店の平内秀司支店長が協定書に署名調印を行いました。今後、互いの強みを生かした取り組みを展開していきます。